

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	2・3・2	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	地域福祉活動の支援					
③ 目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合			施策の内容	地域福祉の担い手である社会福祉団体やボランティア組織等の多様・多岐にわたる活動を様々な面からサポートし、住民の積極的な参加による地域社会の醸成を進めます。	
④ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関係なく提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開ときめ細かな支援が必要になっています。 ◆ 町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。 ◆ 今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。 					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
ボランティア連絡会登録団体数	人	24	25	25	25	25	26	
ボランティア連絡会登録会員数	人	526	532	540	560	580	600	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	28,074	34,865	39,642	34,932	35,984

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の重要な役割を担う各ボランティア団体等への支援を行なうとともに、自主的な活動を促し社会福祉協議会の支援を受けながら住民参加型の地域福祉社会の形成に貢献している。 ・3年に1回の民生委員児童委員の一斉改選を行った。 ・町内において地域福祉活動の中心的役割を担っている「丸森町社会福祉協議会」や「民生委員児童委員協議会」に対して補助金を交付し、福祉団体の活動支援を行った。 	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の福祉団体やボランティア団体等において、多様・多岐にわたる様々な活動が維持できるよう、引き続き必要な支援を行っていく。 ・「丸森町社会福祉協議会」は、社会福祉法により地域福祉を推進する中心的な団体として位置づけられており、児童福祉から高齢者福祉まで広範囲にわたり重要な役割を担っていることから、引き続き、団体への活動支援を行っていく。
---------	---

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】